

# 小中学校の児童生徒に1人1台

# 情報端末を使った授業がスタート



市では、国が推進するGIGAスクール構想の実現に向け、令和2年度中に市立小中学校のすべての児童生徒に1人1台の情報端末が使える環境を整備し、実際に活用した授業が始まっています。情報端末は、今後、鉛筆やノートなどと同様に子どもたちにとって不可欠なツール（道具）となることで、より質の高い教育活動の展開が期待されます。そこで今回は、学校現場を訪問しながら、情報端末を使った授業を紹介します。

問 学校教育課 TEL (36)5538・FAX (32)3352

**GIGAスクール構想とは**  
1人1台の情報端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個人の資質・能力が一層確実に育成できる教育環境の実現を目指した取り組みです。



上写真/タブレット（情報端末）に文字を入力、下写真/板書の黒板や電子黒板も活用しながら進められる授業（金田小）



**金田小学校**では...  
手書きチラシなどと組み合わせ、情報を発信し、学習に活用

金田小学校では4年生の「国語」の授業を訪問。「本をみんなにすすめよう」の学習テーマのもと、これまで読んだ本の中で友達に読んでほしい自分のとおきの本を紹介する授業。紹介のためにタイトルや作者、勧めたい理由などを入れたチラシを手書きで作成した後、スキャナーで読み込みデジタル画像にします。この日の授業では、デジタル画像になったクラス全員の紹介チラシをタブレットを使って、お薦めの理由など細かいところまでじっくり見て、



左写真/電子黒板も活用しながら情報端末で学習、右上写真/株式学習ゲームに取り組む生徒、右下写真/情報端末の保管庫・深夜電力を利用して翌日の授業に備え充電できる（八幡中）



## 学習を深めるツールの一つとして、いつも身近にあるものに

金田小学校 村地信彦 校長  
(ICT教育推進リーダー部会 前部会長・現アドバイザー)



いよいよ子どもたち1人に1台の情報端末が導入されました。早速、目を輝かせながら操作している子どもたちを見てると、まさに、子どもたちがデジタル時代に生まれ育ち、端末を使うのが当たり前になっていることを痛感します。だからこそ、ICT機器とうまく付き合えるような約束やルールの学習とともに、このタブレットが、学習を深めていくための多くのツール（道具）の一つとして、いつでも身近にあるものにしていきたいと考えています。

実際に読みたくなった本を2冊選んでいました。手書きのチラシを作るというアナログな要素とタブレットというデジタルを組み合わせた授業を通して、児童たちは情報発信する力を高める学習に取り組んでいました。



**八幡中学校**では...  
株式学習ゲームでコロナ禍の経済・社会を肌で学ぶ

八幡中学校では、3年生の「公民」の授業を訪問。授業の前半の学習テーマは「国際社会における国家」。生徒たちは、教科書や電子黒板に加え、情報端末の検索サイトなどを活用して学習を深めていました。授業後半は、「株式学習ゲーム」(日本証券業協会・東京証券取引所提供)に3〜4人のグループで取り組んでいました。このゲームは株式自体や株式投資のテクニックを学ぶのではなく、仮想通貨をもとに株式の模

**本市での整備の経過と今後の目標**  
市では、本年度、通信ネットワーク環境を整備し、小学校ではタブレット（画面に直接指や専用のペンでタッチして操作できる板状のコンピュータ端末）、中学校では折りたたみ式タブレットパソコンの合計約7千台の情報端末を整備しました。この整備に向けて、市では「ICT教育推進リーダー部会」を設置し、各小中学校の教員が集まり、活用方法や整備後の留意点について話し合ってきました。

子どもたちが、これからの時代を生き抜いていくために、さまざまな情報を読み解き、論理的・創造的に思考する力やさまざまな課題を見つけ、協働して解決する力などを身につけられるよう、授業の中で1人1台の情報端末を活用していきます。また、教員についても研修などを通して、指導力の向上を図り、ICTを活用することで子どもたちがより意欲的に学び、効果的に力がつけられるよう取り組んでまいります。

## 授業での活用例

### 個別に使う場面

- わからないことを調べる場面や、身につけるコツをつかみややすくする場面、自分の考えをまとめたり表現したりする場面などで使用します。
- 情報端末を使って写真を撮り、記録に残したり、普段見えないような小さい部分を拡大したりします。
- 発音や朗読、書写、運動、演奏などの様子を録画・再生して、技能の習得や向上に役立ちます。
- キーボードを使って、自分の意見や思いをまとめます。
- デジタルならではの多様な表現方法を活用した作品を作ります。
- 子どもたちの情報端末に教員が課題や資料を配付したり、取り組んだ課題を回収したりします。

### 協働で学びを深める場面

- グループで話し合ったり考えをまとめる場面や、仲間と一緒にレポートやプレゼンテーション資料などを制作したりする場面で使用します。
- 授業支援アプリケーションを使って、自分の考えをグループやクラスの中で共有します。
- グループの中で話し合いながら、必要な情報を集め、発表資料を同時に編集し、プレゼンテーションします。
- 遠隔地や海外の学校と交流することで、異なる考えや文化にふれ、多様なものの見方を身につけます。